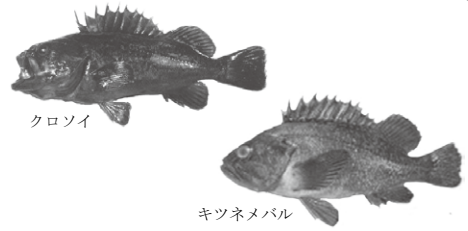


クロソイ・キツネメバル

Sebastes schlegelii (クロソイ)
Sebastes vulpes (キツネメバル)



生態

クロソイ

- ①寿命：10年以上
- ②成熟：3歳以上

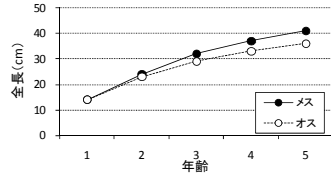


図 青森県クロソイの成長

キツネメバル

- ①寿命：10年以上
- ②成熟：オス4歳
メス5歳

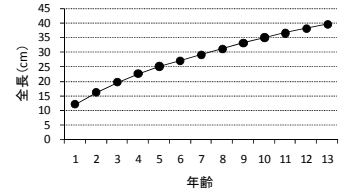


図 青森県キツネメバルの成長

- ③繁殖期：12月～1月に交尾し6月～7月に産仔
- ④分布：日本各地、特に北日本に多い。朝鮮半島、中国にも分布。
- ⑤生態：胎生魚。成魚は沖合の岩礁域に生息。

- ③繁殖期：11月～12月に交尾し4月～6月に産仔
- ④分布：日本海沿岸、神奈川県以北の太平洋。青森県では全域に分布。
- ⑤生態：胎生魚。成魚は水深20～100mの岩礁域に生息。

主な漁業

両種とも定置網、籠、一本釣等で夏を除いて1年中漁獲される。クロソイは1歳、キツネメバルは3歳から漁獲される。

漁獲の動向と水準

青森県海面漁業に関する調査結果書では「そい」としてクロソイ、キツネメバル等は一括で集計され、両種の長期間の漁獲データはない。そい類の漁獲量は昭和51年の250トン最高に減少傾向にあった。平成3年以降、140～230トンで増減を繰り返す、平成28年は220トンと平成27年を上回った。

青森県産業技術センター水産総合研究所が調べた平成13年以降の県内主要漁協のクロソイとキツネメバルの漁獲量をみると、クロソイの漁獲量は平成14年から横ばい、キツネメバルは平成23年をピークに減少傾向となっており、平成25年以降、クロソイの漁獲量がキツネメバルを上回った。

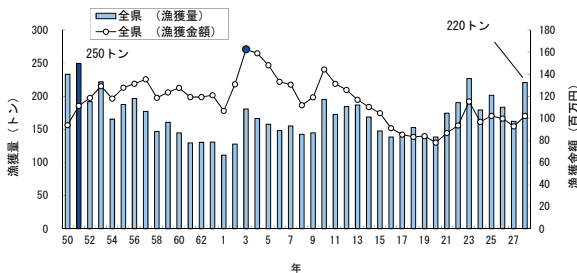


図 青森県におけるソイの漁獲量及び漁獲金額の推移

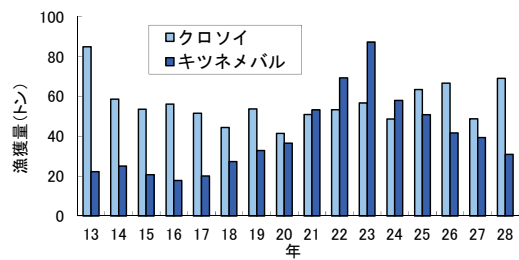


図 主要漁協のクロソイ、キツネメバルの漁獲量

(水産総合研究所調べ)

漁獲の動向 (クロソイ) 漁獲の水準 **高位**
横ばい

漁獲の動向 (キツネメバル) 漁獲の水準 **中位**
減少

資源を上手に利用するために

○資源管理計画（風合瀬漁協 平成7年3月）

・クロソイについて15cm未満個体の再放流、荷受け制限を定めた。

☆上記のような小型魚の漁獲を自粛する取組を継続することが必要である。

トピックス

- ・公益社団法人青森県栽培漁業振興協会と青森県産業技術センター水産総合研究所はキツネメバルの標識放流を行っている。平成28年11月に北金ヶ沢漁港から右腹鰭を抜去した稚魚1万尾を放流した。